

虎次郎
没後
95年

日本洋画130年

開館
30年
記念

130 Years of Japanese

Western-style Painting

児島虎次郎

珠玉の名品と



児島虎次郎《登校》1906年(部分)



青木繁《二人の少女》1909年(部分)

2024

10.12 | 土 | → 12.15 | 日 |



高梁市成羽美術館
NARIWA MUSEUM

会場 | 高梁市成羽美術館 開館時間 | 9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館日 | 毎週月曜日(但し祝祭日は開館、翌火曜日休館)

観覧料 | 一般・シニア1,200円、中高大生600円、小学生以下無料 ※団体20名以上は2割引 ※高梁市内在住の中学生入館無料(学校休業日のみ) ※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方お1人まで無料(証明をご提示ください) ※障害者手帳アプリ「ミライID」利用可)

協賛 | イーグル工業株式会社 主催 | 高梁市成羽美術館 後援 | 岡山県、高梁市教育委員会、公益社団法人岡山県文化連盟、岡山県郷土文化財団、山陽新聞社、読売新聞岡山支局、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、RSK山陽放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、OHK岡山放送、KSB瀬戸内海放送、株式会社吉備ケーブルテレビ、FM岡山、エフエムふくやま、FMらしき、レディオモモ 協力 | 笠間日動美術館 助成 | 一般財団法人 安藤忠雄文化財団

Exquisite Masterpieces and Kojima Torajiro

日本洋画130年 珠玉の名品と 児島虎次郎

虎次郎没後95年 開館30年記念

日本の洋画史130年を振り返り、近代洋画史に名を遺す名品とともに高梁市成羽美術館所蔵の児島虎次郎の代表作を一堂に展示し紹介します。

近代洋画史上初の本格的な洋画家といわれる高橋由一をはじめ、明治期の工部美術学校、東京美術学校出身者、最初の洋画家団体である明治美術会や黒田清輝が主宰した白馬会関連作家、大正期の白樺派、昭和・平成期の独立美術協会など、明治草創期から平成にいたる作家作品40点とともに児島虎次郎の画業を振り返りながら近代洋画の歩みを辿ります。



1.



2.



3.



5.



4.



6.

1. 高橋由一《鮭図》1879-80年
2. 児島虎次郎《勸進帳》1922年
3. 鴨居玲《勲章》1985年
4. 岸田劉生《村娘之図》1919年
5. 藤島武二《日の出》1931年頃
6. 佐伯祐三《パリの街角》1927年

130 Years of Japanese Western-style Painting: Exquisite Masterpieces and Kojima Torajiro

EVENTS 関連イベント ※詳細は当館HPをご覧ください

記念講演会 当日先着順
10月26日 | 土 | 13:30~15:00
会場 ●美術館レクチャールーム
講師 ●松岡智子氏
(倉敷芸術科学大学 教授)
演題 ●「越境する画家たち—
日本洋画130年」

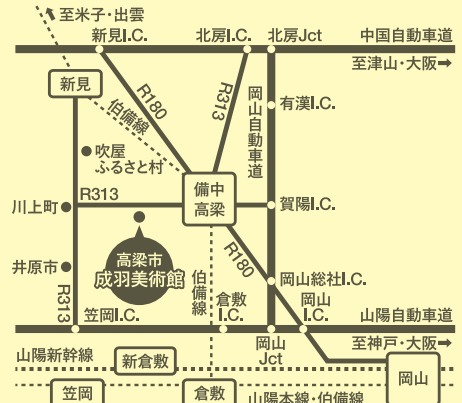
AKA DUO
ミュージアムコンサート 要申込
11月4日 | 月・振 | <開館記念日>
会場 ●美術館多目的展示室
演奏 ●ピアニスト木口雄人氏
ヴァイオリニスト松岡井菜氏
申込締切 ●9月8日 | 日 |

館長によるギャラリートーク
10月19日 | 土 | 11月9日 | 土 | 17日 | 日 | 12月8日 | 日 | いずれも13:30から

本展会期中も、成羽の植物化石を併せてご覧いただけます。

アクセス

- JR岡山駅から伯備線(特急やくも)約35分、(普通)約50分、備中高梁駅下車。バスセンターから成羽方面への備北バス約20分、「成羽」停留所下車、「たいこまるプラザ」隣
- 山陽自動車道 倉敷ICまたは笠岡ICから約50分
- 岡山自動車道 賀陽ICから約30分、岡山総社IC、有漢ICから約40分
- 中国自動車道 北房ICまたは新見ICから約50分
- 岡山空港から車で約60分



高梁市成羽美術館
N A R I W A M U S E U M

〒716-0111 岡山県高梁市成羽町下原1068-3
TEL 0866-42-4455 FAX 0866-42-4451
<https://nariwa-museum.or.jp/>

FOLLOW US!

